



セネガルの子どもたちに教育を！

バオバブの会 ニュースレター

2014年 No.5
(通巻36号)
9月28日発行



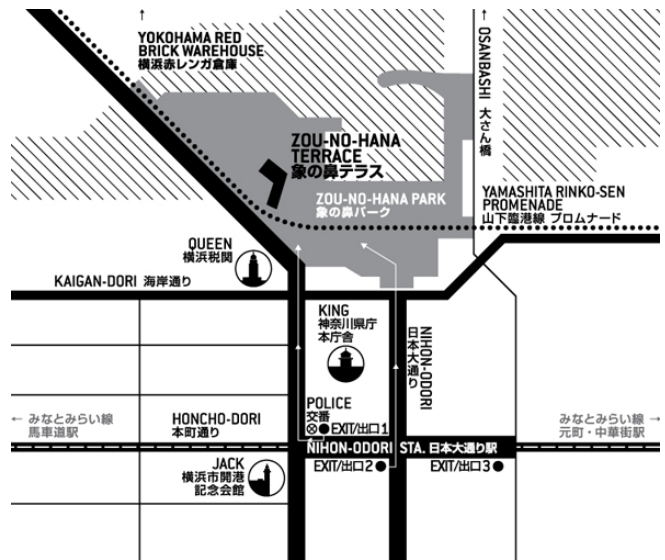
今年は、例年になく秋の訪れが早く、過ごしやすい日々が続いています。
それでも、季節の変わり目は何かと不調をきたすものです。
皆様方にはお変わりなくお過ごしでしょうか。
今回のニュースレターは、秋の活動のお知らせを中心にお届けいたします。
皆様、お誘い合わせて是非お出かけ下さい。

★★★ 『よこはま国際フェスタ2014』 出展 ★★★

<http://yokohama-c-festa.org/>

日時：2014年10月18日(土)・19日(日) 10:30~16:00 小雨決行・荒天中止
会場：象の鼻パーク みなとみらい線 日本大通り駅より徒歩5分 JR・横浜市営地下鉄 関内駅より徒歩15分
主催：よこはま国際協力・国際交流プラットフォーム運営委員会
よこはま国際フェスタ2014プロジェクト
構成団体：(特活)横浜NGO連絡会／公益財団法人横浜市国際交流協会(YOKE)／
JICA 横浜／横浜市政策局国際政策室／(特活)教育支援協会／日本赤十字社神奈川県支部

地図は「象の鼻テラス」さんのものを転用させていただきました。



国際協力・国際交流・在住外国人支援に取り組む諸団体の活動紹介と、団体相互の連携を図って開催される、神奈川県最大規模の国際フェスティバルです。

バオバブの会は、今回も世界の食ゾーンに出展し(ブース番号 R12)、マフェ(トマトとピーナツソースのビーフシチュー) サンド*、ヤッサ(レモンの酸味がきいたチキンと玉葱のシチュー) サンド*、ベニエ(ココナツとレーズン入りアフリカドーナツ)、アターヤ(セネガル風ミントティー)の他、ケベサック(セネガルのお母さんたち手作りのアフリカプリント布バッグとポーチ)、アフリカプリントグッズ、アフリカ関連児童書等を販売する予定です。ブース内では、展示による活動報告を行います。

*今回、マフェとヤッサは、パンに挟んで提供します。

★★★ 『福引き2014』開催 ★★★

★募金活動の一環として、隔年で開催してきました、バオバブの会の自主企画イベントです。

★多くの皆さまのご協力を心よりお願い申し上げます。

★福引きチケットは、前回同様、1枚1,000円です。

★賞品は、セネガルまたアフリカの魅力をお伝えできるような民芸品、アクセサリ、ケベサック、音楽CD、アフリカ関連児童書などを、多数、ご用意しています（空クジはありません）。

♥なお福引き抽選は12月7日（日）のバオバブパーティーで行います。（詳細は下記をご覧ください）

♥パーティーに来られない方の賞品は、後日、郵送などの形でお手元にお届けいたします。

♥購入をご希望の方は、次の方法でお申し込み下さい。

1. お近くの会員にお声かけ下さい。
2. バオバブの会HP内の <http://the-baobab.org/index.html> の「お問い合わせはこちら」info@the-baobab.org に、「福引きチケット購入希望」、枚数、お名前、ご住所、お電話番号を明記し、お申し込み下さい。

★★★ バオバブパーティー ★★★

★★ ひとときのセネガル体験を、一緒に楽しみましょう！ ★★

日時：2014年12月7日（日）

12:00 開場 12:30 開始

14:30 終了予定

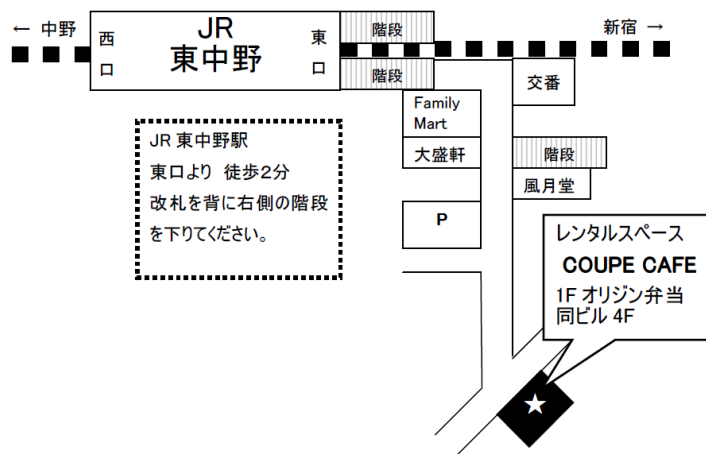
会場：COUPECAFE クープカフェ

<http://coupecafe.com/>

〒164-0003 東京都中野区東中野

1-45-9 宮原ビル 4F

JR 東中野駅 東口より 徒歩2分



★会費：1,000円（セネガル料理軽食

付き）当日、受付にてお支払い下さい。

★イベント内容：セミナー「アフリカの魅力」（仮題）、活動報告、福引き抽選、ゴスペル with アフリカンドラム ミニライブ ♥アフリカグッズのミニバザーもあります！ご家庭に眠っているアフリカの衣類、雑貨、楽器、本、CDなどがありましたらお持ち寄りください。

★定員：40人まで

♥福引きチケットを購入された方もされなかった方も、どなたでもご参加できます。また、福引きチケットを買われた方も、バオバブパーティー会費1,000円は、別途、お支払いください。

★先着順の受付となりますので、参加ご希望の方は、お早めに、下記の方法でお申し込み下さい。

お申し込み方法：バオバブの会HP <http://the-baobab.org/index.html> の「お問い合わせはこちら」info@the-baobab.org に、「バオバブパーティー参加希望」、お名前、ご住所、お電話番号を明記し、お申し込み下さい。

★★★★ ことわざで開く、アフリカ文化の窓 ★★★★★

第16回 「 やり返すか、許すか 」

エル・ハッジ・マサンバ ディウフ

(訳・文責 水野)

イスラエルとパレスティナの皆さん、あなた方には、ルワンダの人々の言葉が聞こえないのでしょうか。「ことの起こりがなんであれ、もしも平和を望むなら、許すことを学ばねばならない」です。そうすれば、何世代にもわたって延々と続いてきた悲惨な戦いの輪から、抜け出すことができるのですが。

ルワンダがあなた方には地理的に遠すぎるのでしたら、もう少し近くにあるチュニジアの人々の言葉、「もしもやり返したら、あとで後悔することになる。許せば、喜ぶことができるだろう」はどうでしょう。このような考えには納得できない、あまりに理想的すぎる、と思うのでしょうか。相手の誤りを非難し、攻撃し合って、いつまでも平和の訪れない暮らしのほうがよいのでしょうか。こうやって、個人同士や大小の共同体間、また国家間の紛争をいつまでもやめようとしなない、たくさんの人々のように。

それにしても、人々は、どうして、復讐したいという思いに固執し、許すことができないのでしょうか。復讐の思いの源については、次の3つが考えられます。

1 体または感情に受けた傷により生じた本能的なもの

2 苦痛をとめたいという、抵抗しがたい思い

3 やり返さないことで、相手に「弱い」というイメージを与えるのではないか、という心配

1については理解しやすいと思います。なぜなら、予測なく衝撃を与えられると、人は様々な反応をします。そのようなとき、まるで日本の侍のように平静を保つことのできる人は、ほとんどいないと思います。普通の人間は、まず反射的に行動してしまい、そのあとで考えこむものです。セネガルのプルの人々が「お前に噛みつく者が、お前にも歯があることを思い出させる」注1と言うのがこれです。

2については、たとえ、やり返して相手に苦痛を与えたとしても、自分の苦痛が減りもなくなりもしない、ということをお認めなければなりません。他人に加えた苦痛により、喜びが生まれる、ということも言えません。薬が頭痛を治すように、苦痛や損害を和らげることはありません。したがって、復讐は役に立たない薬である、と言えます。

3つ目、名誉の問題はどうでしょう。人は侮辱されると、次のような恨みの感情が起こります。「あいつは私をバカにしているから、あんなことをするんだ」とか、「あいつは私を弱虫だと思っているのだ。そうではないことを証明しよう！」とか、「あいつは私の名誉を汚した。恥辱をすすがねばならない。たとえ、血をもってしても」等々。

このような恨みの感情というのは、純粹に人間的なものです。ですから、すべての社会でみられるもので、これに関することわざもたくさんあります。アフリカでは、マラウイのニューアンジャの人々が「お前が私を暗闇で襲うなら、私はお前を嵐の中でも襲うだろう」注2と言い、セネガルのプルの人々は「犬に噛まれてやり返さなければ、犬はきっと、お前には歯がないと言うだろう」注3と言います。アルジェリアのベルベルの人々は、「復讐はたとえ遅れても、孫の代に実行される」

とか、「遅れた復讐は、太い棒で為される」と言って、復讐の感情はいつまでも続き、時とともに冷めたり、弱まることはないことを強調します。

けれども、復讐の動機がなんであれ、復讐された側は、これは自分が先にやった行動の結果である、ということを忘れていません。ただ単に、自分は犠牲者であると感じるだけなのです。そして、すぐに、今度は、その復讐に走るのです。こうして復讐の連鎖が始まり、それとともに暴力の度合いも増していくのです。

私たち人間は社会の中で生きているので、大なり小なり、争いは避けがたいものです。争いは、友人の間から家族の中まで起こりえます。セネガルのウォロフの人々は、「舌と歯は仲間同士でも、仲違いするときがある」注4と言います。ですから、問題は、どうしたら争いに歯止めをかけ、被害を少なくするか、ということになります。そのためには、争いが起こり、それが続くためには、常に二者が存在する必要がある、一人では争いは起きない、ということをおぼえておくのが有効でしょう。それならば、争いを終わらせるためには、どちらかが復讐の権利を放棄さえすればいいのです。これは言うのは簡単ですが。。。

名誉というものは、私たちにとって最も大切なものです。ですから、復讐を放棄するために、次のような、セネガルのウォロフの人々のことわざを使ったらどうでしょう。「ロバに蹴られたとき、やり直すためには、ロバと同じところまで身を落とさねばならない」注5です。言い換えれば、復讐の放棄は、自尊心の証しなのです。復讐の放棄そのものが勝利になるのです。そして、それが相手への軽蔑からでなく、心からの許しから為されたものならば、より高貴なものとなるでしょう。

ともあれ、攻撃も復讐も、できる限り自制しようではありませんか。南アフリカの人々の言葉を思い出しながら。「ものをどんなに高く投げあげても、それは地面に落ちてくる」注6です。

注1 それで、あなたも、仕返しに噛みつくことができるわけです。

注2 どんな状況下でも攻撃してくるというなら、こちらも負けずにやり直す、雨が降ろうが槍が降ろうが。

注3 人は、相手がやり返さないのは、力や手段がないからだだと思います。だから、諦め、負けてしまうのだと。

注4 歯で舌を噛んでしまうことがよくありますよね。

注5 ロバは攻撃するとき、前足を折り体の前方を低くして、後ろ足で高く蹴り上げます。ですから、やり直すなら、こちらも同様に身をかがめなければなりません。

注6 私たちの行為は、良いことも悪いことも、私たちのところへ帰ってきます。私たちは、その結果を引き受けなければなりません。

バ オ バ ブ の 会

〒240-0052 神奈川県横浜市保土ヶ谷区西谷町993-35

TEL&FAX 045-373-0059 HP:<http://the-baobab.org>

代表 エル・ハッジ・マサンバ ディウフ

寄付振込先:

三菱東京UFJ銀行八重洲通り支店普通口座no.1523673

ゆうちょ銀行振替口座 00200=1 45215